「ICTを活用した個別最適な学び」
「指導と評価の一体化」の実現に向けた研究実践

２月７日（火）

担当職員：延岡商業高等学校
前田　千明

ＩＣＴを活用した個別最適な学び
～Google Workspace のアプリを最大限に活用～

主に活用したGoogle Workspace のアプリ

ドライブ：共有ドライブでファイル共有

スプレッドシート：一言宣言・問い・URLの共有

ジャムボード：学習内容の確認と生徒の発表

サイト：資料の共有

スプレッドシート：一言宣言・問い・URLの共有

- 態度目標の一言宣言を共有（観察シート時に参考）
- 「問い」に対しての個人の考えを共有
- 参考資料や個人サイトのＵＲＬを共有

ビジネス経済応用サイト	https://sites.google.com/g.miyazaki-c.ed.jp/bijinesukeizaiouyou/%E7%AC%AC5%E7%AB%A0%E3%83%93%E3%82%B8%E3%83%8D%E3%82%B9%E3%81%AE%E5%89%B5%E9%80%A0%E3%81%A8%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E7%94%A3%E6%A5%AD%E3
共有作成サイト	https://sites.google.com/d/13qVqWqf5s3hfZ6wqUtZeaM8zhELis_Kd/p/189p3lKsELzRl7lMtG_CeZufG2kKtFOKA/edit

HRNO	名前	態度目標（一言宣言）	面白いと思った奇祭	奇祭　※ＵＲＬ	その魅力は何？
3401	Ａさん	たくさん話をする	面祭り	https://opark.jp/	怖がる子供もいるけど記憶に残って思い出になる
3429	Ｂさん	提案時はＰＲＥＰで適切な具体例を話す	御田祭	https://report.iko-yo.net/articles/12528	見物客も泥しぶきを浴びるほどの無病息災の御利益がるといわれ、　面白いと思った。
3431	Ｃさん	沢山の意見を出す	ひょっとこ祭り	https://travel.rakuten.co.jp/HOTEL/162639/162639.html	お面の表情や、踊り方がそれぞれ違って、見てるだけでも笑顔になるのが魅力
3508	Ｄさん	発言者を気分よくさせるうなずきをする	ヨイマカ祭り	https://www.hamirunomori.com/	激しい揺れの中でも掛け声を出しながら太鼓を叩き続けるところが魅了される

スプレッドシートは毎日の授業で使用できる

１．全員の意見を一覧にできる

例）出席簿代わり、クラスルームやフォームよりも容易に意見収集
「問い」に対する生徒の意見（板書不要）

２．他の生徒が書いている内容を参考にしながら自分の意見を入力できる

例）リアルタイムに様々な価値観に触れて自分の考え入力できる

３．行ごとの共同創作ができる

例）学習内容に関する確認テストを作成

サイト（GoogleのＨＰ作成ツール）：資料の共有

資料のリンク貼り付け

▼

資料探しが簡単

サイト（GoogleのＨＰ作成ツール）：資料の共有

classroomで
過去の資料を探すために
長いスクロール

▼

探す意欲の阻害
&
学習意欲の阻害

classroomとサイトの使い分けポイント

classroom	サイト
課題の配布 採点 突発的な連絡事項	資料や動画の共有 作品展示 ポートフォリオ

サイトでポートフォリオを作成できる

１．学習内容をまとめたサイトを作成できる

例）学習指導用としてドキュメント、スライド、動画など蓄積

２．指導の個別化に対応できる

例）生徒の興味関心・進捗度、欠席者に応じた基本指導、発展課題など
Youtube、教師の解説動画など

３．個人のポートフォリオを共有できる

例） 生徒の成果物発表用としてＵＲＬ共有（画像、動画など）

指導と評価の一体化

～「主体的に学習に取り組む態度」の評価を定番化～

３観点の評価する着眼点

【知識・技術】
身に付いたか習得状況を評価する
例）確認テスト、定期テスト、実技など

【思考・判断・表現】
発揮しているか活用状況を把握する
例）ＷＳで考え（主張）と理由（根拠）、作品制作

【主体的に学習に取り組む態度】
自ら学ぼうとしているか意思を評価する　※定番化

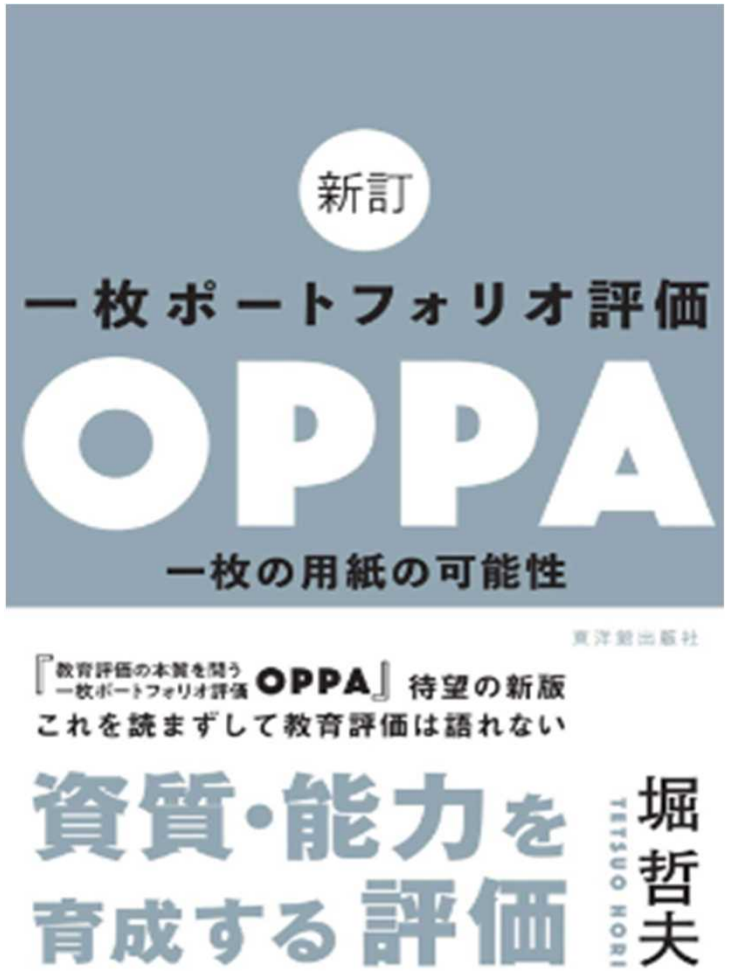
【主学態】の定番にしている評価物

１．ＯＰＰシート（１単元ずつ）

２．自己評価シート（１単元ずつ）
観察シート（タイミング）
相互評価（学期ごと：googleフォーム）

３．学期の振り返り（学期ごと）

１単元ずつＯＰＰシートで見取る



OPPA（One Page Portfolio Assessment）とは、教師のねらいとする授業の成果を生徒が一枚のシートに学習前・中・後の履歴を記録し、自己評価する方法。

▼

『指導と評価の一体化』が可能

OPPシートの基本的構成要素と骨子

1.単元名　例）第５章　ビジネスの創造と地域産業の振興

2-1.学習前
（単元を貫く学習課題に対する考え）

例）地域ビジネスの立案が地域や産業界にとってどのような価値があるか。

3-1.学習履歴

例）本時の学習で一番大切なこと

3-2.学習履歴

例）本時の学習で一番大切なこと

3-3.学習履歴

例）本時の学習で一番大切なこと

3-4.学習履歴

例）本時の学習で一番大切なこと

2-2.学習後
（単元を貫く学習課題に対する考え）

例）地域ビジネスの立案が地域や産業界にとってどのような価値があるか。

4.学習後の自己評価

例）今回の学習プロセスを通して、あなたの考えや行動の何がどのように変わりましたか？
また、今後ビジネスの場でどのような場面でどのように問題解決したいか具体的に記入しなさい。

オリジナルのＯＰＰシートを作成

学習プロセスのふりかえり　第 3 章 ビジネスコミュニケーション　HR　番　氏名

授業の目的:ビジネス実務の専門家として問題解決できるようになる 年間目標:コミュニケーション力(対話力)とコラボレーション力(協働力)の向上 態度目標:①話す②聴く③協力する　内容目標①:チーム全員が確認テストで満点を取る 内容目標②:最重要点を理解する			
思判表	A(十分に満足) □ 最重要点が授業回数の8割記入	B(おおむね満足) □ 最重要点が授業回数の4～7割記入	C(努力を要する) □ AB以下
主学態	A(十分に満足) □ 変容、問題解決、具体的3項目OK	B(おおむね満足) □ 変容、問題解決、具体的2項目OK	C(努力を要する) □ AB以下

※学習履歴の記述内容は、あなたの考える「授業タイトル」と授業の「最重要点」。疑問、調べたくなったことは任意ではあるが評価に含める。

学習前(単元を貫く学習課題に対する考え)
ビジネスの場面で必要なコミュニケーション技能の中で最重要技能とその理由は？

1
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

2
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

3
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

4
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

5
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

6
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

学習後(単元を貫く学習課題に対する考え)
ビジネスの場面で必要なコミュニケーション技能の中で最重要技能とその理由は？

7
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

8
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

9
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

10
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

11
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

12
本時の学習で一番大切なこと
疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

まとめ:今回の学習プロセスを通して、あなたの考えや行動の何がどのように変わりましたか？そのことについて、今後ビジネスの場でどのような場面でどのように問題解決したいか具体的に記入しなさい。

授業の目的、年間目標、態度目標、内容目標

授業の目的：経済に関する知識を応用する専門家として問題解決できるようになる
年間目標：コミュニケーション力（対話力）とコラボレーション力（協働力）の向上
態度目標：①話す②聴く③協力する
内容目標①：チーム全員が確認テストで満点を取る
内容目標②：最重要点を理解する

1位　協調性
▶コラボレーション力　73%
2位　対話力
▶コミュニケーション力　68%
3位　生活態度　64%

東京経営者協会「新規高校卒業予定者の採用に関するアンケート調査」

態度目標

▶自己評価シート + 観察シート+ 相互評価

内容目標①②

▶確認テストは実教出版
▶最重要点はＯＰＰシート

単元を貫く学習課題【学習前・学習後】

学習前（単元を貫く学習課題に対する考え）
　地域ビジネスの立案が地域や産業界とってどのような価値があるか。

学習後（単元を貫く学習課題に対する考え）
　地域ビジネスの立案が地域や産業界とってどのような価値があるか。

「学習前・後で単元を貫く学習課題に対する考え」　【主学態】

　単元を通して最も押さえたい最重要点に関わる問い。

　同一内容の問いは、学習前・後の学習による変容を比較しやすいようにするため。

学習履歴の記入（学習中）

1
本時の学習で一番大切なこと

疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

「本時の学習で<u>一番大切</u>なこと」【思・判・表】

「一番」と限定することで、生徒は学習内容を比較検討するという「思考」を行い、最も重要度が高いと「判断」したことを記述（表現）する。

<u>チェック方法</u>

①的確に回答していれば「○」
②的外れの場合は「？」※自己肯定感を損なわないように「×」は使用しない
③「？」の場合、朱子書きして訂正あり

学習履歴の記入（学習中）

1
本時の学習で一番大切なこと

疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと

「疑問に思ったこと・もっと調べたくなったこと」　【主学態】

単元終わりの「課題」として活用する。

①レポート提出

自らレポートテーマを設定するか統一テーマ

例）Instagramで成功している自治体の共通点は？

②パフォーマンス課題

ドキドキ・ワクワクする課題

例）チームで〇〇を解決するアイデアを提案しよう

<u>チェック方法</u>

「疑問・調べたいこと」には「good、いいね」など

学習後の自己評価（変容・メタ認知）

まとめ
　今回の学習プロセスを通して、あなたの考えや行動の何がどのように変わりましたか？
　また、今後ビジネスの場でどのような場面でどのように問題解決したいか具体的に記入しなさい。

「まとめ」　　【主学態】

学習前・後と学習履歴を振り返って何がどう変わったか（変容）
またそれに対する自分の考えや表現したことについての具体的な思考（メタ認知）

OPPシートは超シンプルなのに効果絶大

１．全校種、教科、科目、教科外でも活用できる。

例）各教科、総探、学校行事、朝読、キャリア学習など

２．学習内容を最小限の情報で整理できる。

例）「本時の学習で一番大切なこと」により単元内容の一覧化

３．すぐに指導に生かすことができる。

例）疑問に思ったことに対する指導（指導と評価の一体化）

自己評価シート（１単元ずつ）

自己評価シート（態度目標）　科目名＿＿＿＿＿＿＿　NO.【　　】
【　　】HR【　　】番　氏名【　　】

主学習：自己評価（態度目標）を通して、知識・技術の向上に向けた「学び方」を自己調整しようとしているか。

態度目標	5 ・ 4	3 ・ 2	1	総合評価（平均）
話す	伝わる工夫をした	説明ができた	説明をしていない	
聴く	うなずき・相づちが適切	うなずきが適切	うなずきができなかった	
※協力する	とても貢献した	貢献した	貢献ができなかった	

※協力する…チームのメンバーに教えた、提案できた、質問した、励ましたなどチームにとってプラスの取り組みが行えたか。

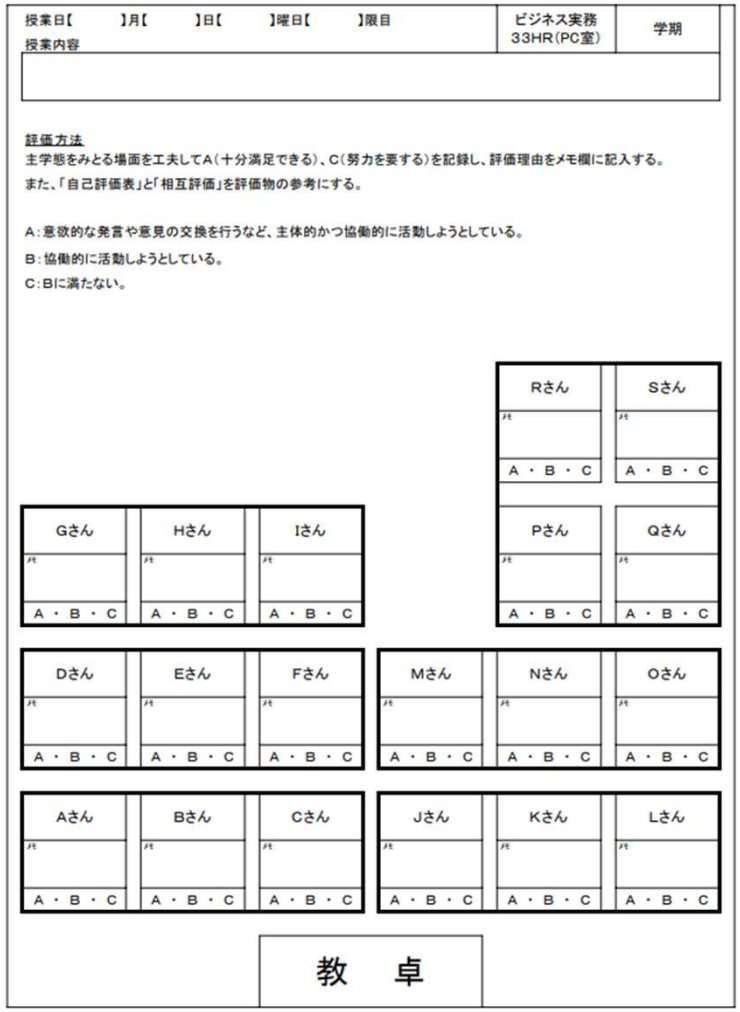
NO	日付	話す	聴く	協力する	挑戦結果・次回挑戦	相互コメント
例）	4/9（月）	2	1	2	動かしくてうなずけなかった。次回、話し手にうなずきの思いやりを返してみよう。	※人格否定、他人との比較コメントはNG。プラスのコメントを返す。
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

評価基準

自己評価（態度目標）を通して、知識・技術の向上に向けた「学び方」を自己調整しようとしているか。

▶適切に自己評価を行える
▶コメントはチームやペアから

観察シート（タイミング）


授業日【　　】月【　　】日【　　】曜日【　　】限目
授業内容
ビジネス実務 33HR（PC室）
学期

評価方法
主学態をみとる場面を工夫してA（十分満足できる）、C（努力を要する）を記録し、評価理由をメモ欄に記入する。
また、「自己評価表」と「相互評価」を評価物の参考にする。

A：意欲的な発言や意見の交換を行うなど、主体的かつ協働的に活動しようとしている。
B：協働的に活動しようとしている。
C：Bに満たない。

Rさん	Sさん	
メモ	メモ	
A・B・C	A・B・C	
Pさん	Qさん	
メモ	メモ	
A・B・C	A・B・C	

Gさん	Hさん	Iさん
メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

Dさん	Eさん	Fさん
メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

Mさん	Nさん	Oさん
メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

Aさん	Bさん	Cさん
メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

Jさん	Kさん	Lさん
メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

教　卓

【粘り強い取り組みの姿】例）

- 初めはうまく表現できなかったりしていても、チームメートの資料を参考にして、よりよいものになるよう改善している。
- 授業中に示された条件をすべて守れるように、問題解決や表現に取り組んでいる。

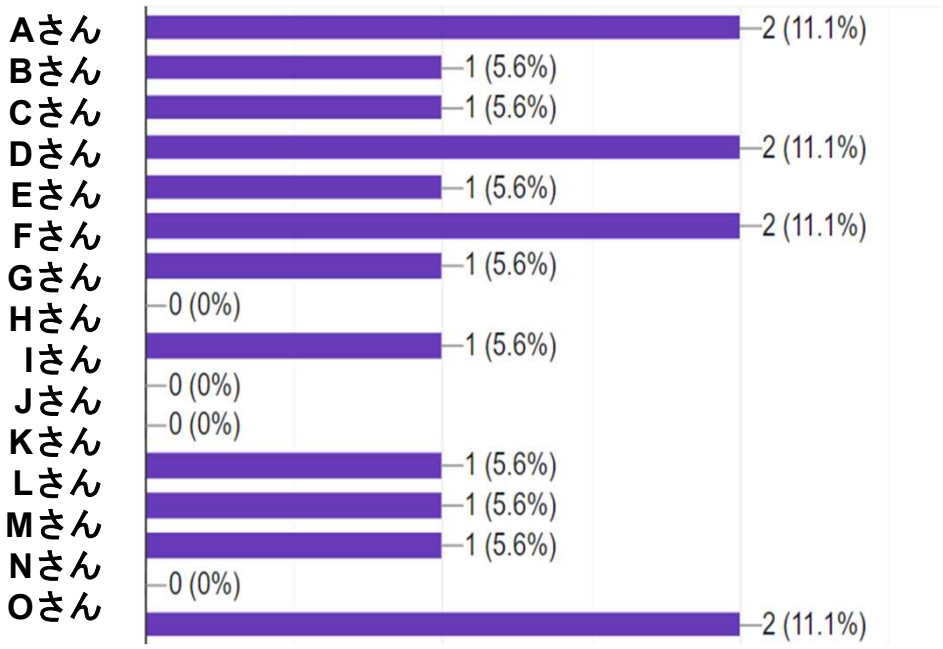
【自己調整学習の特徴】例）

- 自己の学習を自己評価して主体的（自分の意思・判断）に学ぼうとする。
- 学習に必要な情報や援助を求めている。
- 学習の記録を取る。

相互評価（学期ごと：googleフォーム）

説明が上手だった人を１～２名までチェックを入れなさい。

18 件の回答



１．説明が上手だった人を１～２名までチェックを入れなさい。
２．聞き上手だった人（うなずき、相づちなどが上手）を１～２名までチェックを入れなさい。
３．チームで協力をして、貢献してくれた人を１～２名までチェックを入れなさい。

※各質問項目でその人を選んだ理由を具体的に答えさせる。

「主学態」は見取る場面の工夫が必要

生徒が、
「自ら選んだり決めたりして学ぼうとしている」
「振り返って学習を調整しようとしている」
「試行錯誤しながら粘り強く取り組んでいる」

▼

これらの状況が現れる（教師からそう見える）ように授業を工夫し、その場面を見逃さないよう評価する。